

No.	質問・意見概要	教育委員会の回答・考え方
1	再編には基本的に賛成だが、校区内に核となる学校がなくなれば、公民館の活動は今までどおり続けるとしても、人口減が加速しないか心配である。そうならないための対策を講じていただきたい。学校が統合される城内校区に人が移動するのでは？	可能な限り人口減が加速しないよう努めたい。今回の再編では、通学の利便性を求める声もあるが、公民館活動等に支障をきたさないよう、小学校区を分割しない方針を立てている。現在の校区での公民館活動を続けながら、複数の校区で1つの新設校を支えていただければと思う。まちの中心が小学校のある城内校区に移るといことがないとは言えない。しかし、私共としては、この学校があるからこの校区に住みたいと市内外の方から言われ、選んでいただけるような学校を作りたいと考えている。そのためには、1学年1学級で、児童も先生も少ない学校ではなく、適正規模に再編することで、教職員集団を確保し、設備にも十分な投資ができるような、教育環境の充実した学校を作ることが大切だと考えている。
2	小学校は、通学範囲2km以内が徒歩ということだが、統合後はスクールゾーンも更新されるのか？危険な場所が多く存在するため、安全に登校できる環境を整えていただきたい。	通学路の安全対策については、再編後も変わらず対応が必要な課題であると認識している。警察からも再編後の通学路の安全対策に関心を持ってもらっている。新たな通学路の危険箇所の把握や対策について、安全対策協議会等を活用し、引き続き児童の安全を図りたい。
3	住んでいる場所から近い学校に通うことができるか？令和3年度に生まれた子どもまでは現行通りでも仕方がないが、その先は柔軟な対応ができるよう検討して欲しい。 確かに、同じ家から異なる学校に通学する兄弟などが出てくる可能性があるため、難しいのは理解している。乱暴な意見だが、このような意見があるということも理解していただき、将来的にそれが受け入れられる土壌が出来た場合は導入することも検討して欲しい。	説明会を行う中で、特に保護者から同様の意見をいただいている。現在は、近いからという理由での指定校変更は認めていない。学校を自由に選べるようにしてしまえば、同じコミュニティ内で異なる学校に通学する子どもが存在する状況になり、地域コミュニティの円滑な運営等に関して支障が懸念される。そのため、再編後も現行通りの対応を考えているが、将来的に変更の可能性はある。 承知した。ご意見ありがとうございます。

No.	質問・意見概要	教育委員会の回答・考え方
4	<p>母校が閉校するのはやはり寂しい。閉校する学校の多くの卒業生の気持ちを考えて、何か市内全体で記念になるような事業や施設を再編協議会の中で検討できないか？</p>	<p>(学校教育課長)再編協議会(仮称)は、新しい学校ごとに、開校のために決めるべき事項を協議する場と考えている。その学校の集まりの中で記念事業を行う場合は、再編協議会(仮称)の中で議論することも可能かと思う。私共としては、まずは、現在学校に通う子どもたちについて、大きく環境が変わることから、新しい学校に移行するための支援が必要だと考えている。それは、現在の自分たちの学校の誇りを確認した上で、新しい学校への心構えや期待感などを醸成する教育である。卒業生の方々の思いを受け止める場を設けることも大切だと思うが、学校教育の現場で取り組むのはなかなか難しい。有志の方などが自発的に企画運営される場合は支援をしていきたい。</p> <p>(教育長)私も再編で母校がなくなる立場であり、お気持ちはよくわかる。今のようなご意見、例えば、卒業生の記念碑や藤棚を何らかの形で残したいという話は、他の校区でも出ている。全てをそのまま残したり、新しい学校に持っていくことは難しいと思われるが、それぞれの学校で不平等にならないよう、写真で残すなど方法を工夫し、新しい学校に以前の学校の伝統を残していけるよう努めたい。</p>